

蜂蜜が人気を集めている。多種多様な花の蜜を取りそろえて販売する店のほか、蜂蜜を原材料に使った菓子や化粧品、文具などが増えている。健康的で高級感がある商品として、幅広い世代に受けているようだ。

(安藤二郎)

京都市中京区の専門店「ミール・ミイ」には、国内外で採れた様々な花の蜂蜜約40種類のほか、ショウガなどを漬けた飲料、菓子、化粧品、蜂蜜酒など約150種類の商品が並ぶ。人気は、用途別に提案する小型のチューブ(23g、420円)入り蜂蜜。酸味とこくが特徴のソバの蜜はコーヒ

蜂蜜

甘〜くおしゃれ

化粧品、文具にも 健康的で高級感

1用、渋みがある栗の蜜はチーズ用、ハーブのような香りがするボダイジュの蜜はリップクリームにお薦めといった具合だ。

京都市山科区の女性会社員(35)は「種類がこんなに豊富とは知らなかった。健康に良さそうだし、小分けの蜂蜜は便利そう」と、早

速買い求めている。

店を運営する金市商店の市川拓三郎専務(29)は「健康に関心が高い高齢者から、おしゃれに敏感な若い

目が集まっており、売り場を増やした」とする。生産、販売大手の山田養蜂場(岡山県鏡野町)の推計では、国内の関連市場は約160億円。近年、微増で推移しており、食品以外の商品の種類が増えているという。

世代まで幅広い層が来店する。好みの『マイ蜂蜜』を持ち歩く人もいる」と話す。大阪市北区の阪急百貨店梅田本店には、蜂蜜や関連商品を扱う専門売り場が食

料品、菓子、化粧品の各売り場などに計4か所もある。化粧品売り場では、蜂蜜入りのクレンジングオイル(150g、3360円)、せっけん(80g、5040円)、ボディークリーム(180g、6300円)などを販売。パッケージもおしゃれで、若い女性に人気という。

同店は「蜂蜜は高級感があり、受けがいい。おしゃれな食品、化粧品として注

目集まる。今後、さらに商品の幅が広がる可能性はある」とみている。

富士経済(東京)の山住知之主任研究員は「蜂蜜は滋養強壮、自然などをイメージさせ、原材料に使うと付加価値が生まれる。高齢者にとってはなじみ深い食材で、子育て世代や若年層にとっては健康でおしゃれという印象がある。今後、

同社も通販などを中心に売り上げは好調だ。ユニークなのは、ミツロウにクチナシやウコン、唐辛子で色を付けた「みつばちクレヨン」(18色、2100円)。「食材を使っているから、子どもが口に入れても安心な」と好評を得ている。

様々な種類の蜂蜜や関連商品が並ぶ「ミール・ミイ」の店内。試食・試飲で好みの味を選ぶ客が多い(京都市中京区で)

京都市中京区で)

京都市中京区で)

京都市中京区で)



様々な種類の蜂蜜や関連商品が並ぶ「ミール・ミイ」の店内。試食・試飲で好みの味を選ぶ客が多い(京都市中京区で)